

県政レポート 歩く眼 第35号

永瀬ひでき



南浦和越谷線は県道として整備開通へ！

未整備都市計画道路の整備促進について質問・提言

市境にあたる地域は事業の進捗が滞りがちです。何故なら、いずれの市から見ても外れにあたり、行政の目が届かなくなりがちだからです。道路等インフラ整備が立ち遅れ気味となることも多い。川口市の北東部、戸塚地区に、そんな場所があります。

私は、この地域に集まる未整備都市計画道路の整備促進について

は、規模、性質において市町村が処理できない事務である可能性が高く、広域行政を担う県政が積極的に関与すべき事務であると考え、協議会の設立や本会議での一般質問を行い、事業の進捗に取り組んでいます。今号では、その概要についてご報告させていただきます。



令和3年2月定例会 一般質問

未整備都市計画道路の整備促進について

永瀬秀樹の質問概要

川口市の北東部、戸塚地区に、市境となる綾瀬川を超えて、川口市と草加市を東西に結ぶ南浦和越谷線、川口市と越谷市を南北に結ぶ健康福祉村戸塚線、川口市とさいたま市を東西方向に結ぶ東川口駅越谷線の3本の未整備都市計画道路が集まっています。いずれも市道であるこれらの未整備都市計画道路は、川口

市側はほぼ出来上がっているか用地も整っていますが、綾瀬川をはさんだ対岸の各市道が未整備なために遮断され、都市計画道路としての本来の機能が果たされぬままの状態に置かれています。川を超えるためには架橋が必要であり予算が甚大となることもありますが、それぞれの市の外れにあたり、行政の目が届かなくなりがちな地域であることも一因していると考えられます。

しかしながら、これらの未整備都市計画道路が開通すれば、関係隣接地域の交通利便性は著しく上がり、住みやすさは格段にアップすると考えられます。加えて、地域内に存在する越谷防災基地、県民健康福祉村との避難経路、物流路の確保につながり、この地域の防災性は格段に向上すると考えられます。さらには、本県道路政策の弱点である東西交通の円滑な通行を促し、人や物流の拡大による更なる経済の活性化を促し、県政発展に寄与することが期待できます。

この地域の未整備都市計画道路の整備促進については、地域の関心も高まり、令和2年12月、県、関係各市の担当者と、小島信昭団長をはじめとする関係各市選出の自民党県議会議員、市議会議員をメンバーとする勉強会を開催し、協議会も発足しました。市境部におけるミッシングリンクの解消につながるこの未整備都市計画道路の事業化に向けては、関係各市間の連絡調整、国の補助制度の活用、県の財政支援の実施など、効果的な事業の進め方や財源の確保に向けた方策について、広域行政の観点から県が積極的に関与し、早急に進めていただくようお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。県土整備部長の見解をお聞かせください。



▲令和2年12月に県、関係各市の担当者と小島信昭団長をはじめとする関係各市選出の自民党県議会議員、市議会議員をメンバーにして行った勉強会の様子。勉強会後にはその場において、協議会発足の運びとなりました。

埼玉県 県土整備部長の答弁

議員御質問の3本の都市計画道路は、川口市、草加市、越谷市、さいたま市に跨る道路であり、整備はそれぞれの市が行うことを基本としております。

川口市内については、南浦和越谷線が既に整備され、東川口駅越谷線は綾瀬川への橋りょうを除いて完成しており、健康福祉村戸塚線においては、土地区画整理事業で整備が行われています。一方、草加市、越谷市及びさいたま市内については、いずれの都市計画道路も未整備という状況でございます。

これまで県では、関係市と未整備都市計画道路の整備が進められるよう適宜意見交換や情報共有を行ってまいりました。また、令和2年12月の勉強会には、県も関係市の職員とともに参加し、関係者間で、現状や課題が改めて共有されたところです。

整備が進まない要因としては、関係市において市街地の都市計画道路の整備を進めていることや新たな橋りょうの整備に多額の事業費が必要となることが考えられます。

県では、この地域の道路網の強化が東西交通の円滑化に資すると考えており、それぞれの道路整備が進むよう、関係市と意見交換の場を設けるとともに市の財政負担軽減に向けた国の有利な補助制度の紹介や技術的助言を行ってまいります。

▶令和2年12月に行った勉強会で現地を視察した時の様子。



このように、県は課題を認識し、関係各市間の連絡調整と指導や助言に関与するとの一歩進んだ答弁を引き出しましたが、私は、長年にわたり事業が滞っているこの地域の未整備都市計画道路の整備促進については、県がより主体的な関与をするというパラダイム変換が必要と考えました。

そこで、まずは重要でありかつ、整備効果が極めて高いと考えられる南浦和越谷線について、県が広域行政の立場からより積極的な関与をする、すなわち県道として整備できないかと考え、再度本会議で質問を行いました。

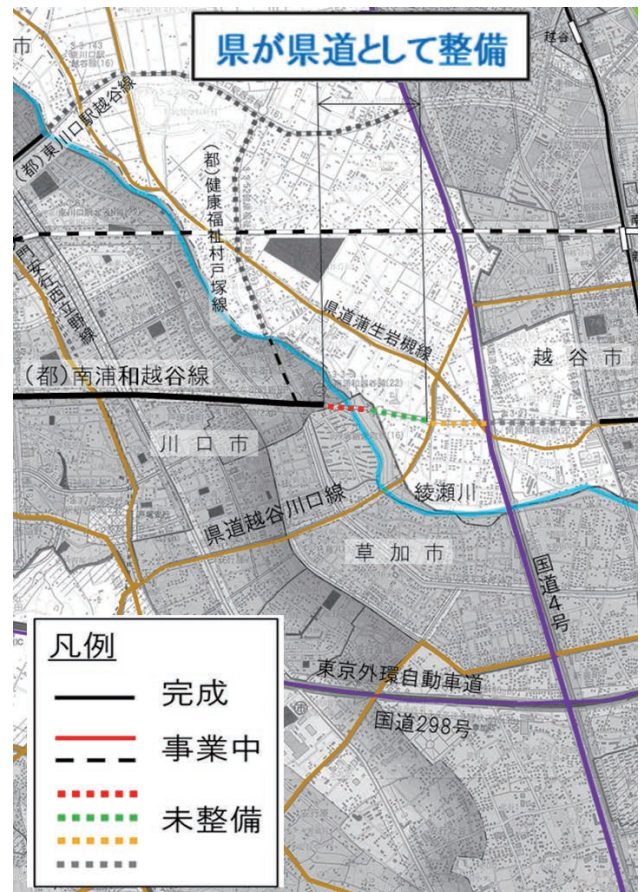
令和4年9月定例会 一般質問 都市計画道路・南浦和越谷線の早期整備について

永瀬秀樹の質問概要

都市計画道路・南浦和越谷線は、川口市小谷場地内から川口市北部、草加市、さらには、越谷市蒲生地内までを東西に結ぶ幹線道路で、川口市区間は既に整備が完了していますが、戸塚環境センターの前で行き止まりとなっています。

この南浦和越谷線も含め、川口市の北東部戸塚地区には健康福祉村戸塚線、東川口駅越谷線の3本の市境にまたがる未整備都市計画道路が集まっており、整備に向け広域的連携も必要なことから、我が党の小島信昭団長を中心に関係各市選出の自民党県議・市議がメンバーとなり、令和2年12月に協議会が発足しました。同時に、県、関係4市の職員同席の中、現地視察を実施し、現状や課題が改めて共有され、協議会として整備促進に向けた取り組みが行われてきました。

私は3路線いずれも重要と捉えているところですが、このたび南浦和越谷線の整備について新たな取り組みが始まったと聞きました。県は、現在どのような取り組



みを行っているのでしょうか。開通すれば沿道地域の結び付きを強めることはもちろんのこと、本県道路網の弱点である東西方向の交通の円滑化につながり、人の交流や物流の拡大による地域の活性化に大きく寄与し、整備効果が極めて高いと考えられる南浦和越谷線について、地元からも早期整備を要望する声が多く寄せられている現状も鑑み、未整備である戸塚環境センターから国道4号までの区間について、広域行政の観点から県が積極的に関与し早期に整備すべきと考えますが、いかがでしょうか。県土整備部長のご所見をお聞かせください。



埼玉県 県土整備部長の答弁

これまでに、川口市内の約8.8kmが既に供用されています。

川口市戸塚環境センターから東の国道4号までの区間は、これまで草加市、越谷市、県がそれぞれの整備区間を定め、進めていくこととしていました。しかし、草加市区間に綾瀬川があり、橋梁架設に多額の費用が掛かることなどが課題となり、長い間事業化に至っていませんでした。

こうした中、東埼玉道路など周辺の道路整備が進み、この区間の整備の必要性が一層高まっており、広域的な視点から県が整備することを前提に、関係市との役割分担の見直しに着手しました。

整備に当たっては、用地交渉や地元調整などを市に担っていただくとともに、並行する県道越谷川口線を市に移管する必要があるため、現在、関係市と協議を進めています。今後、早期に事業着手できるよう努めてまいります。

未来をひらけ！

南浦和越谷線は県土整備部長の答弁にあるように、草加市内の綾瀬川を渡る橋梁の架設が大きなネックとなっていました。私は何度も県と調整・協議を重ね、県が主体となって事業を進めるための見通しがようやく見えてきました。

南浦和越谷線、健康福祉村戸塚線、東川口駅越谷線の3本の未整備都市計画道路が開通することで、交通の利便性が著しく向上し、地域の活性化に大きく寄与することは間違いありません。さらに防災基地でもある県民健康福祉村への避難経路、または非常時の物流路の複数確保につながり、防災対応能力も格段に上がります。一日も早く整備が進むよう、今後も県にしっかり働きかけ、取り組んでまいります。

あなたのご意見を
お聞かせ下さい。

自民党県議団 県政調査事務所

〒332-0012 川口市本町4-8-12-102 Tel.048-223-6050 Fax.048-223-6170